

医療現場と家族の経験談をもとに、より良い最期を支え、そして迎えるために、みんなで考えていきたいと思えます。

いのちに寄り添う 終末期ケアとは

基調講演 (13:00~14:15)

テーマ

「共に生きていく
～在宅ホスピス医
からのメッセージ」

講師

内藤 いづみ さん (ふじ内科クリニック院長)

内藤先生プロフィール

1956年、山梨県市川三郷町(旧六郷町)生まれ。福島県立医科大学卒業後、東京女子医科大学内科等に勤務。1986年から英国プリンス・オブ・ウエールズ・ホスピスで研修を受け、1995年、甲府市にふじ内科クリニックを設立、院長となる。NPO日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。著書に『しあわせの13粒』『最高に幸せな生き方と死の迎え方』(オフィスエム)『笑顔で「さよなら」を』(KKベストセラーズ)『あなたが、いてくれる。』『いのちの話がしたい』『いい医者いい患者いい老後』(永六輔共著・佼成出版社)など多数。

パネルディスカッション (14:30~16:00)

テーマ

「やすらかな終末期のために、
どのような支えがいるの」

パネリスト

坂根 俊輔 さん (医療法人坂根医院 院長：田原本町)

堀内 恵子 さん (奈良県看護協会立 ホームナーシングセンター長)

中井 悦代 さん (公益社団法人 認知症の人と家族の会)

助言者 内藤 いづみ さん (ふじ内科クリニック院長)

コーディネーター 中島 孝之 さん (中島医院 院長：大和郡山市)

2012年 7月22日 日

13時開始 (12時30分受付)

東大寺ミュージアム 小ホール

参加費 500 円 募集人数 130 名

申込締め切り
7月18日(火)
裏面をご覧ください

主催 奈良介護保険研究会

※勇美記念財団助成金受託

お問い合わせ 地域研究会 俣志

奈良市高畑町1202-7 TEL& FAX 0742-94-6805
satobi-gokoro@amail.plala.or.jp

人生の最期をどのように迎えたいのかと問われた時、誰しも思うのは、できれば親しい人々に看取られて、安らかに息を引き取ることであると思います。しかし多くの場合、病気に罹って亡くなっていきます。その最期をどのように支えることができるのか、その医療現場と家族の経験談を元に、より良い最期を支えそして迎えるために、みんなで考えていきたいと思っています。

介護保険シンポジウム参加申込書

お申込みFAX番号: **0742-94-6805**

*切らずにこのままお出し下さい

事務所・事業所名	
住所 (〒 —)	
参加者名(職種名) ◎必ず()に職種名の記載をお願いします	連絡先 TEL () FAX () E-mail(パソコン)
()	ご意見欄
()	
()	
()	
()	

E-mail:satobi-gokoro@amail.plala.or.jp

*メールにても受け付けています。申込書と同じ内容をご記入ください

連絡先: 地域研究会 俚志(さとびごころ) 事務局 大浦悦子
〒630-8301 奈良市高畑町1202-7 TEL:0742-94-6805

申し込み
締め切りは、
7月18日(火)
です

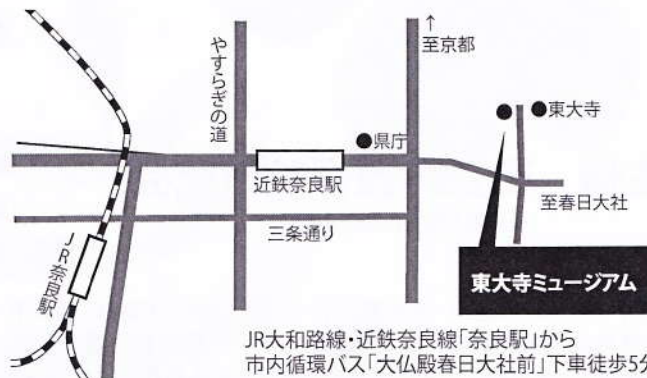
※この申込書にご記入いただいた個人情報はこの学習会にのみ使用し、他に用いることはありません

会場のご案内

東大寺ミュージアム 小ホール
(東大寺総合文化センター内)

〒630-8208 奈良市水門町100番地
TEL. 0742-20-5511 FAX. 0742-25-5553

施設内に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用になるか、近隣の駐車場をご利用ください。



JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から
市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分